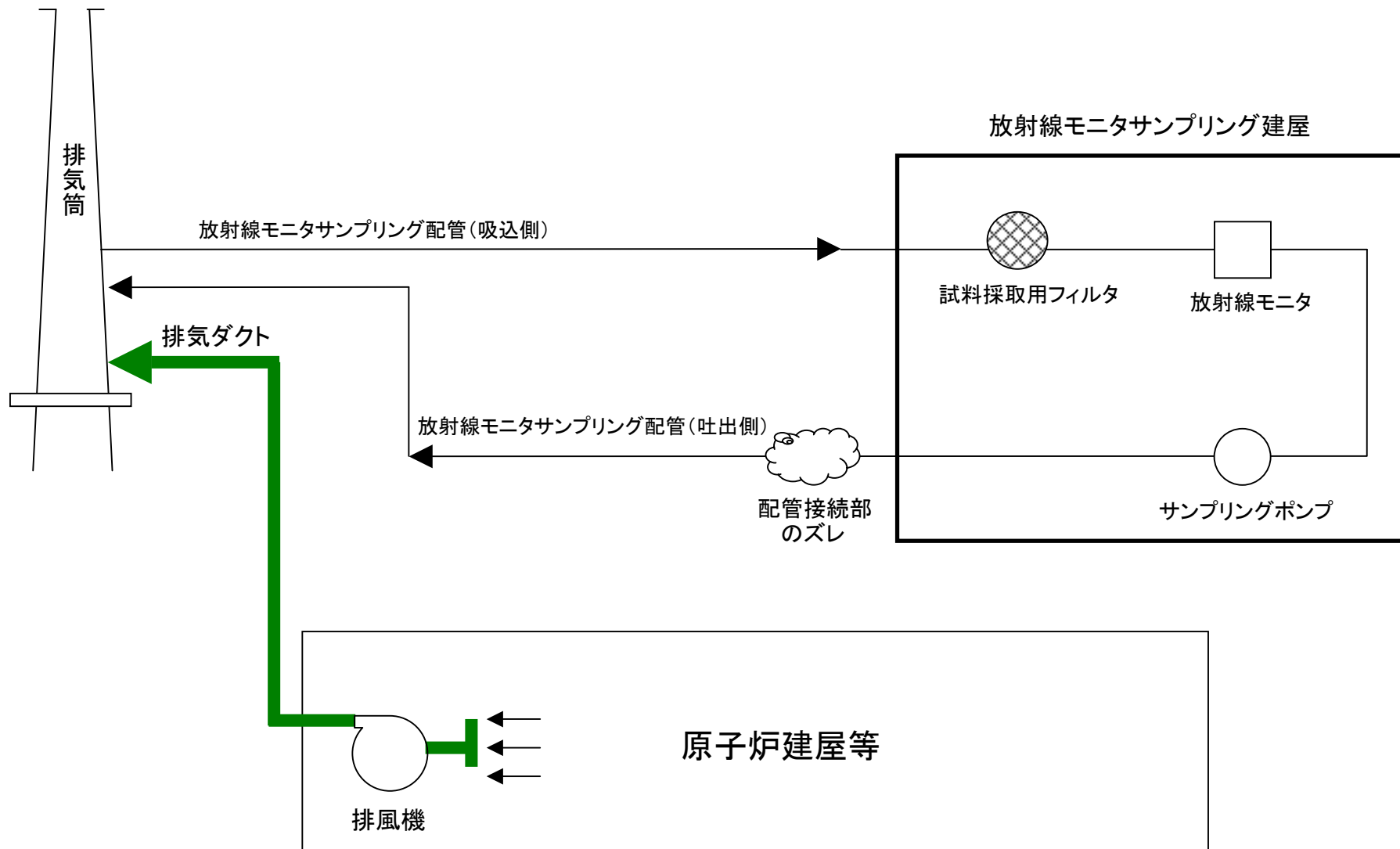


区分：

号機	1号機	
件名	主排気筒放射線モニタサンプリング配管接続部のズレについて	
不適合の概要	<p>(事象の発生状況) 定期検査中の1号機において、主排気筒放射線モニタサンプリング配管*の点検を実施していたところ、平成20年10月27日午後4時27分頃、当該配管のうち、放射能濃度を測定した後の気体を主排気筒に戻す配管(直径約20mm)の接続部にズレ(幅最大約7mm)があることを確認しました。</p> <p>(原因) 当該配管接続部がズレた原因については、地震との関連も含めて調査中です。</p> <p>(安全性、外部への影響) 当該配管は、原子炉建屋等の気体の一部を取り出して測定するためのものであり、フィルタを通した後の気体が漏えいした可能性があるものですが、新潟県中越沖地震発生以降、当該測定により放射性物質が検出された実績はありません。また、当該配管接続部表面の放射能濃度を測定した結果からも放射性物質は検出されませんでした。これらのことから、外部への放射能の影響はないものと考えています。</p> <p>* 主排気筒放射線モニタサンプリング配管 原子力発電所から出る気体中に含まれる放射性物質を測定するため、主排気筒から放出される気体の一部を取り出して専用の試料採取装置に導き、測定後に再び主排気筒へ戻す配管。</p>	
安全上の重要度 / 損傷の程度	<安全上の重要度> 安全上重要な機器等 / <u>その他設備</u>	<損傷の程度> 法令報告要 法令報告不要 調査・検討中
対応状況	今後、ズレのあった配管接続部を交換するとともに、原因について地震との関連も含めて調査します。 なお、その他の号機についても点検を実施しておりますが、点検結果については、週報公表時に取りまとめてお知らせします。	



1号機 主排気筒放射線モニタサンプリング配管の概略図